

お父さんのための 創作工房

講座報告

～写真で伝えよう！家族への思い～

第一回 浅田政志さん講演会 「記念日をつくる記念写真」

写真家の浅田政志さんに『家族写真』をテーマに“家族の絆”についてお話いただきました。



浅田政志さん

1979年三重県生まれ。日本写真映像専門学校在学中に

「浅田家」シリーズを撮り始める。2003年上京、スタジオフォボス勤務を経て07年に写真家として独立。

08年、写真集「浅田家」(赤々舎)を刊行し、第34回木村伊兵衛写真賞を受賞。



前半は、なぜこのような一風変わった家族写真を撮ることになったのか。『浅田家』の撮影スタイルができたエピソード。

後半は、この家族写真の撮影によって家族の関係はどう変化したのか。また、地域との関わりはどうなったのか。震災のボランティアに参加してどう感じたかなど、ユニークな写真を映しながら、心に響くお話をして頂きました。

アンケートより<自由回答>

- ・改めて絆の大切さを感じました(男性)
- ・『温かい講演』本当に良かったです(男性)
- ・前向きな気持ちになりました(女性)
- ・これからも活躍されている方々のお話を聞きたい(女性)

選択回答では、「家族や、家族写真について考えるよい機会になった」方が多数でした。「自分も家族写真を撮ってみようと思った」方も半数を超えました。

第二回

ワークショップ①

「家族のカメラマンはやっぱりお父さん」



講演会に続き、写真家の浅田政志さんにお父さん対象のワークショップ一回目の講師をして頂きました。



全3回のワークショップでは、最後に参加者の方がそれぞれの家族写真を作品にします。そのため、浅田さんからセルフタイマーのタイミングについて教えて頂きました。



講演会に引き続き、たくさんの写真も見せて頂きました。左の写真は実際に参加者の方達が、セルフタイマーに合わせてジャンプしたものをチェックしているところです。

第三・四回 ワークショップ②・③

「家族のカメラマンはやっぱりお父さん」



ワークショップ2回目と、3回目はお父さん達が実際に家族写真にチャレンジしました。

まずは、自己紹介から。
家族構成や、家族としての夢を語り合いました。



また、宿題となっていた『セルフタイマーで撮影した自分の写真』についての感想を話し合いました。

最終回は、それぞれの作品を発表。
第一回講師の浅田さんからもメールでコメントを頂きました。
(次ページに一部紹介があります。)



アンケートでは、講演会同様に、家族や、家族写真について考えるよい機会になったとみなさん回答されました。30代40代の同世代のお父さんということもあり、和やかな雰囲気ワークショップが進められました。職場を離れて、お父さんが家族や趣味について語り合える場所になったのではないのでしょうか。



参加者、
モルダーさんの作品
『お正月ワッショイ』

一緒に飛んでいる「しまじろう」も写真の中でアクセント
になっています(笑) 一体何枚ほどチャレンジし
たのか気になります……。この瞬間も誰かに押して
もらわずに、セルフタイマーで撮ったのならなかなか
なもんです!! さらに上の一枚を目指すなら、
モルダーさんや^{モルダー}奥さんの表情も見えると良いと思います。
とは言っても、🐣🐣🐣ちゃんのこの表情と2人の顔も入れ
ると奇跡の一枚レベルになりますね(汗)
あと天井にポイントが合っているのもおいです。くー……。
メインはみなさんなのに、
けど大丈夫。きっと🐣🐣🐣ちゃんが大きくなって、この写真
を見た時に、とっても愛され育てもらったと思う方に
間違いないありません!!

ナイスショット!!

浅田政夫